

全体	No. 2 8
個別	005-01

平成 2 6 年度 [福 祉 部] 目標の成果

課 名	福 祉 課
-----	-------

No.	項 目	対馬市障害福祉計画の策定
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>現在の第 3 期障害福祉計画「平成 2 4 年度～平成 2 6 年度」では、障害福祉の新たなサービス体系への移行の構築を目標に策定されており、第 4 期「平成 2 7 年度～平成 2 9 年度」においては、第 3 期を踏まえ、多様化する障害者のニーズに応じた計画相談支援により、適切なサービス提供を目標に計画を策定します。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 3 期計画の実績調査及び検証 ・ 策定委員会の開催：2 回 ・ 計画の策定
	2. 実 績 (成 果)	<p>平成 2 7 年 3 月に対馬市障害福祉計画を策定し、障害者福祉の適正なサービス提供に着手しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害福祉サービスの課題・問題点や今後の要望等を中心にサービス提供者及び相談支援業者へ文書による照会調査を行いました。 ・ 対馬市地域自立支援協議会による審議会の開催：1 回 ・ 平成 2 7 年 3 月に対馬市障害福祉計画を策定
	3. 評 価	○
		<p>対馬市障害福祉計画を策定したことで、多様化する障害者のニーズに応じた適切なサービス提供ができる体制づくりが出来ました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>自立支援協議会において、本計画の推進上の問題点の協議及び毎年度の事業実績等を基に、障害福祉サービスの達成状況や地域生活支援事業等の実施状況の点検・評価を行い、本計画の円滑な運用を図ります。</p> <p>また、本計画の確実な推進を図るため、関係行政機関や社会福祉法人、市内外の様々な関係施設等が、それぞれの役割の担い、相互に協力しあえるよう、有機的な連携体制づくりを目指します。</p>

全体	No. 2 9
個別	005-02

平成26年度 [福 祉 部] 目標の成果

課 名	福 祉 課
-----	-------

No.	項 目	高齢者福祉及び障害者福祉サービスの充実
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】 高齢者が暮らしやすい環境整備と生活支援の推進及び障害者の必要に応じたサービスの提供に努めます。</p> <p>【 指 標 】 ・高齢者福祉サービス 高齢者生活支援事業として、食の自立支援助成（配食サービス）、生きがい活動支援助成（デイサービス）、軽度生活援助助成（ホームヘルパー）の充実を図り、在宅の高齢者が安心して自立した生活が送れるよう、関係機関と連携を密にし、孤独死0を目指します。 ・障害者福祉サービス 職員の障害者福祉に関する知識と意識を高め、障害のある人の個別のニーズに応じたサービス提供を図り、障害者が地域において自立した日常生活や社会生活を営まれるよう、関係機関と連携体制を確立し、住みよい地域づくりに努め、苦情0を目指します。</p>
	2. 実 績（成果）	<p>・高齢者福祉サービス 関係機関と連携を密にし、平成26年度において、食の自立支援（配食サービス）延べ3,561回、生きがい活動支援（デイサービス）延べ210回、軽度生活援助（ホームヘルパー）延べ82時間の助成を行った。</p> <p>・障害者福祉サービス 複雑・多様化する障害者のニーズに対応するため、平成27年3月に第4期対馬市障害福祉計画を策定し、障害のある方が安心して生活を営むことができる支援体制づくりを図りました。</p>
	3. 評 価	○
		<p>高齢者福祉サービスについては、高齢者と直接対峙する機会を増やすことで安否確認を行い、高齢者の孤独死を未然に防ぐことに繋がっている。また、障害福祉サービスにおいては、職員の研修会等の参加により、知識と意識を高め、障害をお持ちの方が安心してサービスが受けられるよう、関係機関と連携を図り、スムーズな事務処理に心がけました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>高齢者及び障害のある方が安心して生活できる地域づくりを目指し、関係機関との連携を密にし、サービスの空白地をなくす支援体制の整備を図ってまいります。</p>

全体	No. 3 0
個別	005-03

平成 2 6 年 度 [福 祉 部] 目 標 の 成 果

課 名	こ ども 未 来 課
-----	------------

No.	項 目	子ども・子育て支援事業計画の策定
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	「子ども・子育て支援法」に基づいて、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めていく「子ども・子育て支援新制度」の実施に向けて、そのニーズの見込み調査を行い、その結果に基づく5年間の需給計画を策定します。
	【 指 標 】	<ul style="list-style-type: none"> ○対馬市子ども・子育て支援会議を開催し、検討・審議を行います。 ○対馬市子ども・子育て支援会議作業部会を立ち上げ、計画策定について、細部における協議・検討を行います。 ○対馬市子ども・子育て支援事業計画の素案については、市民に公表し、意見公募を行います。 ○対馬市子ども・子育て支援事業計画書を策定します。
	2. 実 績 (成 果)	
		<ul style="list-style-type: none"> ○対馬市子ども・子育て支援会議 4 回開催 ○対馬市子ども・子育て支援会議作業部会 2 回開催 ○パブリックコメントの実施 ○対馬市子ども・子育て支援事業計画書作成
	3. 評 価	○
		4 回の対馬市子ども・子育て支援会議と2回の作業部会の開催により、組織目標であった『対馬市子ども・子育て支援事業計画書』を策定しました。
	4. 今 後 の 展 開	
		策定した『対馬市子ども・子育て支援事業計画書』に沿って、子どもの立場に配慮しながら、保護者・地域住民・事業者及び学校・施設等関係者と協働し、それぞれの役割を担うために必要な支援等の責務を果たします。

全体	No.3 1
個別	005-04

平成26年度 [福 社 部] 目標の成果

課 名	こども未来課
-----	--------

No.	項 目	保育料収納率の向上				
	1. 組 織 目 標					
	<p>【 内 容 】</p> <p>未納保育料及び滞納保育料については、納入催促通知書等の通知、臨戸徴収や納付相談を実施するとともに、各担当者との連携を図り、早めの徴収を念頭に収納率の向上を目指します。</p> <p>【 指 標 】</p> <table> <tr> <td>現年分収納率</td> <td>98.5%</td> </tr> <tr> <td>滞納分収納率</td> <td>58.0%</td> </tr> </table>	現年分収納率	98.5%	滞納分収納率	58.0%	
現年分収納率	98.5%					
滞納分収納率	58.0%					
	2. 実 績 (成 果)					
	<p>平成26年度収納率</p> <table> <tr> <td>現年分収納率</td> <td>96.5%</td> </tr> <tr> <td>滞納分収納率</td> <td>40.4%</td> </tr> </table>	現年分収納率	96.5%	滞納分収納率	40.4%	
現年分収納率	96.5%					
滞納分収納率	40.4%					
	3. 評 価	△				
	<p>平成26年度実施として、未納・滞納者へ催告通知書等を送付し、納入計画誓約書及び児童手当等を窓口徴収する等対応しました。現年分収納率においては平成25年度95.5%から平成26年度96.5%と上昇したものの、滞納分収納率においては平成25年度42.9%から平成26年度40.4%と低下した結果となりました。収納率回復に向けての体制強化を図ります。</p>					
	4. 今 後 の 展 開					
	<p>対馬市未収入保育料事務取扱内部規定の見直しを行い、未納保育料及び滞納保育料については納入催促通知書等の通知、臨戸徴収や納付相談（誓約）を確実に実施し、各センター保育所担当との連携を図りつつ、業務を遂行することによって収納率の向上を図ります。また、住居不明者等の不納欠損処理を行います。</p>					